

コロナから、命、暮らし、雇用、営業を守りぬく「すぐやる提言」



岡崎ふみのり

緊急提言 命を守る「すぐやる提言」

重点政策 神戸を変える！「5つの転換」

記者発表資料

2021年10月4日

部内資料

#ChengeKOBE 市民と野党の共同で 神戸を変えよう！

コロナから、命、暮らし、雇用、営業を守りぬく「すぐやる提言」



岡崎ふみのりの決意

岡崎ふみのりは、神戸市長選に挑戦し、コロナ禍を通して、自己責任を押し付ける冷たい神戸市政を変えようと決意しました。

コロナ危機は、非正規雇用で働く人たちから真っ先に仕事を奪いました。まともな補償なしに自粛を強いられている自営業者は追い詰められています。企業誘致や大型開発で一部の企業が潤っても、三宮の地価が上昇しても、コロナ危機で市民の生活、家計の消費が落ち込んだために、神戸経済はリーマン・ショックを上回る大打撃を受けました。

新産業や外資系企業誘致ばかりで、市民の暮らしも、地域や雇用を支える中小業者をほったらかしにする「競争と自己責任」の新自由主義の政治が、脆く住みにくい神戸にしています。

神戸で暮らす市民をまず大切にして、地域に根差いた事業者さんを応援し、女性や若い人など非正規で働く人の待遇を改善する、「格差と貧困をなくす」ことに力を注ぐ政治が、いま市長には求められているのではないのでしょうか。

岡崎ふみのりは、コロナから、市民の命と暮らしを守り、雇用と営業をしっかり守ることを、何よりも最優先にとりくみます。

#ChengeKOBE 市民と野党の共同で 神戸を変えよう！

緊急提言 命を守る「すぐやる提言」

“すぐやる”提言 命を守ります！



① 病院病床と保健所を増やす

すべての患者に必要な病床医療を提供します。政府の「原則自宅療養」では、市民の命は守れません。行政区に保健所を復活させ、病院統廃合や病床削減をストップし、医療機関と従事者への支援をつよめます。

② 雇用と営業をしっかりと補償

コロナ禍で事業継続が困難となっている中小企業・自営業者への補償を強め、持続化給付金・家賃支援給付金の第2弾の実施を求めます。離職、減収となっている非正規労働者、ひとり親家庭、学生を支援します。

③ 少人数学級をただちに実施

学習の遅れと格差の拡大、子どもたちの心身のストレスには、手厚い教育が必要です。教育予算と教員を抜本的に増やし、少人数学級で、学び、心身のケア、感染防止と安全を保障する学校をつくります。

命とお金を天秤^{てんびん}にかけると
冷たい市政はもう終わりに

岡崎ふみのりの政策とお約束

一人ひとりの市民が希望を持って 誇りに思える神戸市へ

神戸を変える！「5つの転換」「9つの地域政策の柱」

(Ver2.01)

立候補を発表以来、たくさんの市民団体の方から、熱い期待とともにご要望をたくさんいただきました。

またこの間、日本共産党や新社会党など市議会野党の皆さん、兵庫県保険医協会はじめいくつかの団体とも政策協定を締結し、ともに実現するために協力と共同をおこなうこととお約束いたしました。さらに、団体からアンケートやご要望もたくさんいただいています。

岡崎ふみのりは、コロナから命と暮らしを守る緊急提言「すぐやる提言」とともに、重点政策である、神戸を変える！「5つの転換(Ver2.01)」、「9つの地域政策の柱」を、神戸市長として挑戦したい政策とお約束として公表します。

今後も、多くの市民や団体との懇談を重ねて、重点政策や地域政策を、さらに進化させていく予定です。

神戸を変える！「5つの転換」 **重点政策**

- 第1の転換 市民の命と健康を守る「ケア」に手厚い神戸へ
- 第2の転換 地域に根ざした雇用と営業を応援し、地域経済の基盤が強い神戸へ
- 第3の転換 教育・子育て支援予算を抜本的に増やし、子育てするなら神戸へ
- 第4の転換 地域の特性を伸ばし、いつまでも、どこでもくらせる神戸へ
- 第5の転換 個性が輝き、だれもが自分らしく生きられる神戸へ

+

9つの行政区の特性を活かす

地域政策



重点政策 神戸を変える！「5つの転換」



第1の転換

市民の命と健康を守る 「ケア」に手厚い神戸へ

- ・保健師と感染症専門医師を増やし、行政区に保健所を復活させる
- ・感染症対応の病床を増やし、自宅療養ゼロをめざす
- ・医療・介護施設、学校・保育所・幼稚園などでのPCR大規模頻回検査を実施する
- ・ワクチン接種が困難な方へ、接種ができない方へのきめ細やかな対応をする
- ・医療機関、介護事業所への減収補填をおこなう
- ・病院統廃合や病床削減に待ったをかけ、地域に必要な病院・専科をふやす
- ・北区済生会病院と三田市民病院の統廃合ありきの協議は中断し、地域医療を守る
- ・先端医療に過度に特化することなく、市民が標準医療として受けられる基盤をつくる
- ・歯科や予防医学など健康づくりにつながる活動を支援する
- ・医療・介護・保育従事者への支援をおこない、エッセンシャルワーカーの待遇を改善する
- ・国民健康保険料の市独自の控除制度など保険料を引き下げる
- ・介護保険料の引き下げ、利用者負担の軽減をすすめる
- ・障がい者福祉など利用者負担と保険料を軽減する
- ・高校卒業までの医療費一部負担を無料にする
- ・障害者・ひとり親・高齢者など福祉医療助成制度を拡充する
- ・コロナ禍で困難を増した生活実態に寄りそう生活保護行政の推進と拡充をする
- ・ヤングケアラーへの支援を強める
- ・虐待防止のための専門職員を正規化して増員をすすめる
- ・子ども家庭センター（児童相談所）は正規職員を大幅に増やし分割配置して強化する
- ・特別養護老人ホームなどの介護施設を増やす
- ・加齢性難聴の方への補聴器購入助成制度をつくる
- ・障害者就労を支援し、促進する
- ・住民税を減税し、不公正税制をあらためる
- ・誘致企業約100社への12億円もの行き過ぎた減税を中止、公平な負担を求める
- ・70万市民に対する住民税均等割3億円増税は中止し減税する

第2の転換

地域に根ざした雇用と営業を応援し 地域経済の基盤が強い神戸へ

- ・ コロナ禍で離職、減収となっている非正規労働者、ひとり親、学生を支援する
- ・ コロナ禍で減収・事業継続が困難となっている中小・自営業者を補償する
- ・ 公契約条例をつくり、神戸市から最賃 1500 円への流れと正規雇用への転換をすすめる
- ・ 市内職場からハラスメント、過労死、サービス残業を追放するブラック職場根絶宣言
- ・ 若者が市内での就職を促進し、奨学金の返済支援や、雇用する中小企業を支援する
- ・ 企業誘致頼みをやめ、地産地消やエネルギーふくめた域内循環型事業を手厚く支援する
- ・ 正規労働者への転換や採用を増やす中小企業者へ支援する
- ・ 生活密着、教育・子育て、防災優先、維持・補修の公共事業で、仕事を確保する
- ・ 地域振興条例を制定し、大企業の身勝手な撤退進出に反対し、地域貢献を求める
- ・ 中小事業者が受注できるよう、分離・分割発注、小規模工事登録制度を推進する
- ・ 市場商店街への支援の拡充とともに、個別店舗への支援メニューをふやす
- ・ 住宅・店舗リフォーム助成を創設する
- ・ 農漁業の担い手の育成・支援する
- ・ 学校給食などあらゆる場面で、地産地消、自給率の確保・向上をすすめる
- ・ 漁業者の漁業権を守り、瀬戸内海の豊かさを活かした施策を進める
- ・ 六甲山系の豊かな自然を守り、木質バイオマス発電など新たな事業を支援する

第3の転換

教育・子育て支援予算を抜本的に増やし 子育てするなら神戸へ

- ・少人数学級を前倒し実施、中学高校へと拡充して、感染防止と、手あつい教育を実現する
- ・高校卒業までこどもの医療費を完全無料する（再掲）
- ・ひとり親世帯福祉パスの創設など、ひとり親家庭支援を強める（再掲）
- ・不妊治療助成を拡充する
- ・産科・小児科不足を解消する（再掲）
- ・妊産婦検診費用を完全無料化する
- ・出産時の支援金の拡充し、出産直後のお助け支援助成をする
- ・学校調理の中学校給食を全校で実施する
- ・給食費助成を小学校や特別支援学校に拡充する
- ・教職員の大幅増員で一人一人に寄り添い教育をめざす
- ・全校に栄養教諭・司書教諭の配置をめざす
- ・各区に特別支援学校を計画的に設置する
- ・学費負担を軽減し、市独自の給付型奨学金を創設する
- ・公立保育所はじめ認可施設の増設で、保育所待機児ゼロにする
- ・学校・幼稚園の統廃合を中止し、新設と増設で学校と学童の過密の解消をめざす
- ・学童保育の運営費補助の拡充、指導員の処遇改善をはかる
- ・都心市街地のマンション規制などで、ゆとりある地域の子育て環境を守る

第4の転換

地域の特性を伸ばし、いつまでも どこでもくらせる神戸へ

- ・ 公的・公共交通を充実し、所得と地域での交通格差解消をする
- ・ 敬老バス無料乗車券を復活させる
- ・ 低所得者むけの福祉バス制度を創設する
- ・ 神戸電鉄や、近郊区路線バスなど、郊外と都心の交通費軽減制度をつくる
- ・ 市バス路線ふくめ公共交通機関の維持・拡充する
- ・ 生活道路の改修・改善、都市公園の美化改修をすすめる
- ・ 市営住宅をこれ以上減らさず改修し、コロナ禍などでの住宅困窮者の生活圏を維持する
- ・ 借り上げ住宅の入居者の実態に寄り添い、継続入居できるようにする
- ・ 急傾斜地対策、河川改修、津波・高潮対策など住民意見を尊重してすすめる
- ・ 地域に身近な避難所の整備や、感染症対策の強化や備蓄をすすめる
- ・ 被災者生活再建支援法の拡充を国に求めつつ、独自の支援制度の拡充をはかる
- ・ インバウンド頼みではなく、地域の特性を活かした観光資源を維持充実させる
- ・ オンラインやデジタルで対応が困難な市民にもしっかり寄り添える区役所をつくる
- ・ 駅前一極集中型の開発をやめ、徒歩圏で生活でき、住み続けられる郊外地域をつくる
- ・ 三宮再開発・本庁舎建て替え計画をストップして、公共事業は生活密着に転換する

第5の転換

個性が輝き、だれもが 自分らしく生きられる神戸へ

- ・ ジェンダー平等を進め、個人の尊厳を大切にする。SDGs を推進する。
- ・ 意思決定の場への女性参画を増やす
- ・ 女性の正規市職員を増やすとともに、幹部職員の女性比率を高める
- ・ 「男女共同参画」「勤労市民」の部署を復活させ、系統的に推進する
- ・ 「所得税法 56 条」廃止を国に求める
- ・ DV・性暴力に関する 24 時間の相談窓口をつくる
- ・ リプロダクティブ・ヘルス/ライツを推進。学校・公共施設で無償生理用品を提供する
- ・ LGBTQ+相談ワンストップ窓口をつくり、パートナーシップ条例を制定する
- ・ こどもの参加と自己決定権を尊重し、未来を担うこどもの権利を守る
- ・ ヘイトスピーチや外国人差別をなくし、諸外国都市とのさらなる友好関係をつくる
- ・ 市の情報公開と住民参加、公文書の管理の仕組みを抜本的に拡充します
- ・ 住民の権利と個人情報を守ること最優先する。国の機関であっても無原則に提供しない
- ・ 社会教育施設の儲けの道具にすることをやめ、文化・芸術・スポーツを振興する
- ・ コロナ禍で苦しんでいる芸術家や文化団体などへの支援をつよめる
- ・ 石炭火力・原発からの脱却し、地球温暖化防止と再生エネルギーへ転換する
- ・ 再生エネルギーは大規模環境破壊型ではなく、域内循環型分散型ですすめる
- ・ 脱炭素・省エネ。再生エネで 2030 年度までに温室効果ガス(CO₂) 60%削減の実現をめざす
- ・ 神戸製鋼石炭火力発電所は増設やめて、運転中止をもとめる
- ・ 廃プラスチック類対策は市民への啓発だけでなく、市内消費にかかわる全企業に求める
- ・ アスベスト対策にかかわる条例を制定し、規制と指導を強化する
- ・ 「非核神戸方式」を堅持し、平和市長会議でも積極的役割を果たす
- ・ 日本国憲法や地方自治法を暮らしに活かします

地域政策 9つの行政区の特性を活かす



神戸市の行政区は、それぞれの豊かな特徴をもっています。この特性を活かしたまちづくりをすすめます。

市街地には市街地、ニュータウンにはニュータウンに、郊外には郊外に、地域には地域の実情や課題があります。三宮一極集中の開発では神戸市民の暮らしはよくなりません。

駅前開発一辺倒だけでなく、それぞれの地域の特質に合わせた対策が必要です。地域の皆さんのご意見をお聞きしながら、活性化策を推進します。

東灘区

海の手、山の手、良好な環境で子どもをはぐくむ街に

灘区

文化と教育を伸ばし、にぎわいと住みやすさを大切する街に

中央区

都心の魅力を光らせ、住んでいる区民を何よりも大切にする街に

兵庫区

子どもと高齢者の笑顔があふれ、町工場と市場商店街がにぎわう街に

長田区

下町の良さを残し、国際性も豊かに開花するぬくもりの街に

北区

公共交通の充実、健康と観光が同時に満喫できる街に

須磨区

地域の力＋行政の応援で笑顔があふれる街に

垂水区

歴史文化と景観をいかし 住み続けたい街に

西区

「住み」「働き」「学び」「憩う」それぞれが響きあう安心の街に

コロナから、命、暮らし、雇用、営業を守りぬく「すぐやる提言」



**岡崎ふみのりは、
3つの「すぐやる提言」を
就任後ただちに着手**

**コロナから
市民の命と暮らしを守り抜き
雇用と営業を守りぬき
神戸を変える第一歩にします**

#ChengeKOBE 市民と野党の共同で 神戸を変えよう！